

生活や社会における事象を、技術との関わり視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること

例えば、「A材料と加工の技術」
技術による問題の解消では・・・



製作品を作り上げることや
道具等の使い方の習得が
重要視されてきました。

教師が「見方・考え方」を意識しないと・・・

問題を発見し、課題を設定し、
ものづくりで解決しよう

上手に作れるかな？
何をしようかな？



子供が「見方・考え方」を意識すると・・・

問題を発見し、課題を設定し、機能性、生産
効率、安全性、環境への負荷、経済性等に着
目してもものづくりで解決しよう。

経済面と環境面を両立させたいな・・・



子供たちは、様々な視点から多面的に課題の解決
法を考え最適解を見いだそうとする。

どのような技術の見方・考え方をしているのか・・・

子供たちの問い: どんな点に気を付けながら、解決策を考えていけば
最もよい課題の解決法になるだろう。

とても丈夫で使いやすいものを作りたいけど、
材料費はできるだけ安くできないかな。

【社会からの要求(機能性)と経済性
の比較】

ずっと使い続けるものを作りたいけど、
もし捨てる時には、簡単に捨てたいな。
そのために、気を付けることは何だろう。

【社会からの要求(丈夫さ)と環境負荷
との比較】

見た目が格好いいものを作りたいけど、あ
まり時間が無いから、作りやすさも重要だな。
どうすれば、作りやすくなるだろう。

【社会からの要求同士(デザインと作業性)
の比較】



課題の解決法について様々な視点や側面からものづくりを捉え、
自分の考えに沿った最適な解決法を計画することができる子供の学びの姿

例えば、「振り返り」の場面で、他の生徒の考えに触れ、自分の考えや設計・製作品を振り返ることで

そうか！そんな解決法(視点)もあったんだな。真似してみたいな。
今度、他の問題も「ものづくり」で解決してみよう。

子供たちは、技術の見方・考え方をより意識して働かせるようになる。